



▲ 同世代の小泉進次郎議員と
経済再生・景気回復に向けて固く誓い合

第3次安倍第2次改造内閣がスタートし「この道を。力強く、前へ。」のスローガンのもと、経済再生・景気回復を最優先に取り組んでいます。

現在、我が国を取り巻く経済環境、財政状況は回復の兆しを見せ始めているものの地方経済は厳しい状況にあります。少子高齢化、超高齢化、人口減少社会の中で、平成28年度一般会計予算96兆7千億円のうち、約3分の1を占める社会保障関係費(年金・医療・介護等)が毎年増加している状況で、これをどのようにしてまかなっていくのかが

腰を強め、成長を力強く推し進めていくことで、収益力を高め、その果実を社会保障費に再分配していくことです。



▲ 小池百合子氏と固い握手
これからも都政とのパイプを活かしていきます

アベノミクスと社会保障

The banner features a large blue circle at the top containing the character '勝' (Kō). Below it is the character '通' (Sei). The background has radial blue and white stripes. A cartoon illustration of a smiling man in a suit is positioned in the center. At the bottom, the characters '冬号' (Winter Issue) are written in a stylized font.

自由民主党静岡県
第6選挙区支部

■お問い合わせ

自民党静岡県第6選挙区支部
かつまた孝明後援会
〒410-0062
沼津市宮前町13-3
電話 055-922-5526
FAX 055-922-5527
URL <http://www.t-katsumata.com>
ブログ <http://ameblo.jp/t-katsumata/>
E-mail jimin@t-katsumata.com

大きな課題となっています。増大していく社会保障関係費をまかなければ、いくつの方策があります。

まずは、消費税の引き上げです。消費税は、消費活動をするすべての国民の皆さんに負担を強いる税金であり、消費活動に大きな影響を及ぼします。できれば、税金は上げたくないのが心情です。

次に、借金(国債の発行)でまかなうことです。これは現在、国の借金が1000兆円を超えるといわれているとおり、借りたお金は返していく必要があり、次の世代にツケを先送りすることになります。子供たちの未来に負担を強いることはしたくないのが心情です。

また一方で、行財政改革による財政健全化、さらには予防医療等の推進による健康寿命の向上による医療・介護費の維持抑制は両輪で行つていかなければならぬと考

平成28年度3月期決算で当期利益2兆3千億円を超えるました。しかしながら、地域経済を支える自動車関連の中小部品会社などには、まだその果実が届いていないのが現状です。

今必要なことは、地方経済を支える中小企業の支援です。そのため、競争力強化のための税制優遇、集中した投資拡大等を図っていきます。



**県立長泉高校跡地
遂にファルマバレーセンター開設!**

静岡県立がんセンターを中心とし、医療機器産業、ウェルネス産業を成長させていくというファルマバレー構想が提唱され、いよいよその拠点となるファルマバレーセンターがオープンしました。有名メーカーや地元企業の参画により、知恵と技術を結集し、世界に向けて最先端医療機器を発信していきます。これにより、多くの研究者や技術者が集い、この長泉町に多くの雇用も生まれました。



▲ ファルマバレーセンター開所式にて

かつまた孝明

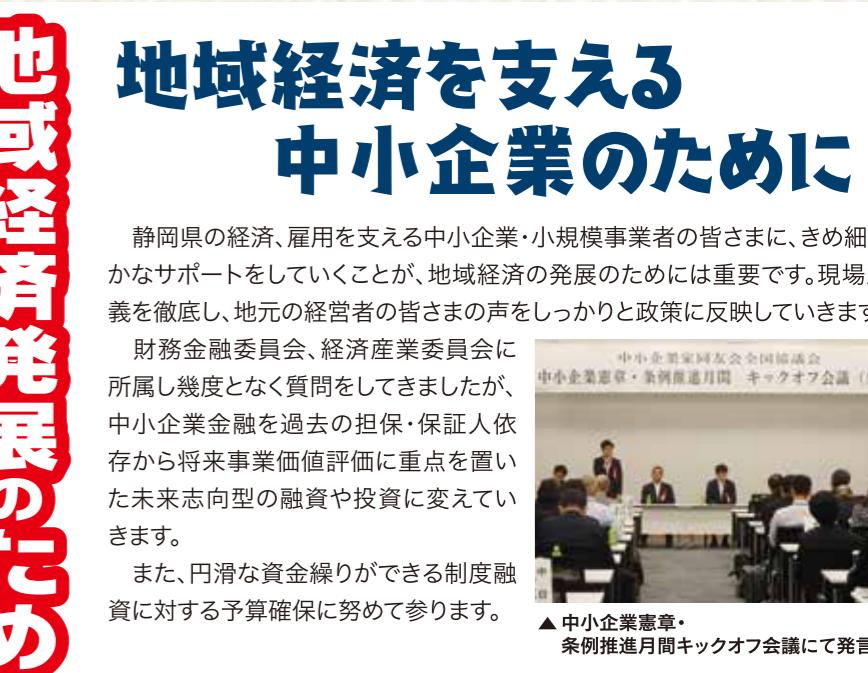
昭和51年4月7日生まれ(40歳)
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親(沼津市出身)
母親(伊豆市出身・修善寺)
妻・長男・長女・次男

学歷

しょうえい幼稚園 卒園
沼津市立門池小学校 卒業
沼津市立門池中学校 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 2年
経営学修士:MBA取得

職歷

平成12年4月	スルガ銀行株式会社 入社
平成24年12月～	衆議院議員1期目
平成26年12月～	衆議院議員2期目
	消費者問題に関する特別委員会・理事
	経済産業委員 財務金融委員
	地方創生に関する特別委員
	自民党環境部会・部会長代理
	自民党ITS道路調査会・幹事



政治は 実行力です! 若者が帰ってくる 魅力ある ふるさとへ! 沼津・伊豆半島 ~伊豆縦貫道で 伊豆じゅう感動~

港の整備推進の取り組み

沼津港

沼津港は、新しい振興ビジョンが決まり、地方創生整備推進交付金1700万円を確保し、利便性の高い沼津港の整備を進めていきます。

伊東港

伊東港は、防波堤の延伸工事の予算を確保することができました(平成28年度国費負担分6000万円)。災害に強い伊東港を目指し、皆さまの生命と財産を守ります。

熱海港

伊豆半島唯一、日本丸クラスのクルーズ船が着岸できる熱海港における防災力強化や、観光のため更なる整備促進をしていきます。



遂に工事始まる! 東駿河湾環状道路西区間

東駿河湾環状道路西区間(沼津岡宮～愛鷹)の中心杭打ち式が行われ出席しました。昭和62年の都市計画決定以降約30年間、事業化がされずに予算が付かなかった”幻の道路”でした。

私の当選後、地元の皆さまの熱い想いで平成27年3月に事業化され、昨年、今年と5000万円の予算が付きました。中心杭打ち式が行われ、本当に感慨深いものがあります。

今後とも、防災力の強化、国道一号線バイパスの渋滞解消、商業発展のため予算確保に全力を尽くします。そして政権と党国会議員の責務として、早期完成に向け民意をしっかりと國に示していきます。



伊豆縦貫自動車道「天城越え」に向けて

伊豆縦貫自動車道の早期開通に向け、予算要望活動を行っています。石井国土交通大臣に地元の皆さまが熱い思いをお話ししました。

沼津から下田までの約60kmを結ぶ高規格道路伊豆縦貫道は、懸案であった「天城越え」が昨年、計画段階評価を受け、いよいよ一路が決まります。基幹産業であるワサビの生産に重要な水脈をしっかりと調査を行い、慎重に進めいかなければなりません。

観光客の皆さまや地元の皆さまの渋滞解消のためはもちろんのこと、若い人たちがふるさとに帰ってくることができるため通勤時間短縮、防災や緊急医療体制の構築のためにも大切な命の道です。

前政権で減らされた予算をしっかりと確保していくかなければなりません。地元の皆さまと一致団結して進めていきます。



~海からも楽しめるジオパーク~ 伊豆の海をPR

スクーバダイビングのライセンスを持っているため、久しぶりに伊東市富戸で潜りました。

伊豆半島には36か所ものダイビングスポットがあります。ダイバーが気持ちよく来ただけるよう施設の整備やダイビングスポットまでのインフラ整備を早急に進めています。

そして、多くの皆さまに海の資源管理を大切にし、伊豆の基幹産業である漁業に対する理解を深めていただけるよう、また海中のジオパークも体感していただき、世界に向けてしっかりと伊豆の海をPRしていきます。



2020年東京五輪から正式種目に決まったサーフィン。下田でのサーフィンを更に知りたい方々と、日本初イベント、100人同時波乗りを開催しました。

「マリンスポーツ議員連盟」の幹事として下田の素晴らしい海を世界にPRしていきます。

下田でサーフィン イベント開催

伊豆半島の ホテル・旅館を 守り!

観光客の皆さまが徐々に戻りつつある伊豆半島。海外からのお客様も増えております。国では特区として民泊を認める動きがあります。しかし、健全な経営によって多くの皆さまの信頼を得てきた伊豆のホテル・旅館にとって、無許可宿泊施設は築き上げてきた信頼を失うものになります。無許可宿泊施設撲滅決起大会に参加し、こうした懸念を述べさせていただきました。



1958年(昭和33年9月)に起きた狩野川台風によって、私たちのふるさとは800人を超える犠牲者を出しました。その後、1965年に狩野川放水して、7年後1965年に狩野川放水が完成しました。狩野川の氾濫を防ぎ、ふるさとの命と財産を守るとの決意のもと奔走したのが、当時の遠藤三郎先生と秘書であった二階幹事長でした。私もまだお一人の足元にも及びませんが、志を引き継ぎ、一度とあの狩野川台風のような大災害を繰り返さないため、ふるさとの皆さまの安心安全のため、狩野川の整備・治水対策の予算確保を全力で行っています。



狩野川整備・治水対策の推進

二階幹事長と遠藤三郎先生



急傾斜地対策、 土地改良事業の予算確保



農林水産省の予算である土地改良事業予算は、前政権によって大幅に予算が削減され県内事業も多くの場所で滞っていました。

今年度予算で県内83億円(前年度比138%)を確保し、地元においても①沼津市西浦・内浦地区急傾斜地、②伊豆の国市韭山地区農道整備、③東伊豆町稻取地区農道整備等の予算確保により、事業がようやく動き始めました。また、東伊豆海のみえる農園も事業化することができました。

「沼津サバ」ブランド化に向けて
「沼津サバ」をブランド化しようと、我入道漁業協同組合様からご相談を受け試食会に参加しました。沼津のサバは、なんと一本釣りでどれたもので、その新鮮さから、刺身で大変美味しいだけます。こうした特徴を活かした「沼津サバ」の地域ブランド化に向けて取り組んで参ります。

▲美味しい「沼津サバ」の試食会にて



2020年東京五輪から正式種目に決まったサーフィン。下田でのサーフィンを更に知りたい方々と、日本初イベント、100人同時波乗りを開催しました。

「マリンスポーツ議員連盟」の幹事として下田の素晴らしい海を世界にPRしていきます。